

「日本との違い（クリスマス・年始年末について）」

杉本 晃一

こんにちは。こちらは本格的な夏になり、毎日高温多湿でまるで日本にいるようです。今回はこちらでのクリスマスと年始年末についてご紹介します。

日本でクリスマスと年始年末を比べると年始年末の方が休暇のイメージが強いと思います。しかしオーストラリアではクリスマスの方がより重要な休暇となります。まずクリスマスはあらゆる人が休むので、お店がすべて閉まっています。そのため前日24日のショッピングセンターはかなり混みました。また日本ではクリスマスは恋人同士で過ごすという風潮がありますが、オーストラリアは親戚が集まって家族で過ごします。私のホストファミリーもニューージーランドに帰省し親戚と過ごしました。私は友達の家でディナーを楽しみました。クリスマスの翌日26日はボクシングデーと呼ばれあらゆるお店でセールをやります。早朝から開店を待つ行列を見ることができました。また日本でも人気のあるプロジェクションマッピングがこちらでも行われていました。



(市内の建造物がプロジェクションマッピングにより装飾されています。)

一方新年は日本ほど重要ではなくイベントの一つとみなされています。国内の各都市では新年が明けたと同時に花火が上がります。特にシドニーの花火は最大級の規模です。私も 31 日にシドニーに向かい花火を見ることができました。ちなみにシドニーには多数の日系企業があり、休暇の 1 週目にシドニーを訪れた際（休暇中に合計 2 回シドニーを訪れました。）に何社かインタビューをさせていただきました。日本とオーストラリアの架け橋となっている方々にお会いして改めて私自身も架け橋になれるように努力をしなければならないと痛感しました。



（シドニーでのカウントダウン後の花火の様子）

最後に私のインターンシップ先の企業が決まりました。Ecospecifier という環境に配慮した持続可能な商品の販売開発支援などを行う会社です。約 2 ヶ月という短い期間ではありますが、ベストを尽くして駆け抜けていきたいと思えます。